

平和フォーラムの2011年度活動経過

(2011年4月～2012年3月)

1. 諸会議の開催

5月23日	平和フォーラム第1回(拡大)常任幹事会(総評会館)
6月17日	平和フォーラム第1回運営委員会(総評会館)
6月17日	原水禁第1回常任執行委員会(総評会館)
7月21日	平和フォーラム第2回運営委員会(総評会館)
7月21日	原水禁第2回常任執行委員会(総評会館)
9月6日	平和フォーラム第3回運営委員会(総評会館)
9月6日	原水禁第3回常任執行委員会(総評会館)
9月27日	平和フォーラム第2回常任幹事会(総評会館)
10月6～7日	各都道府県組織・中央団体責任者会議(日本教育会館)
11月24日	平和フォーラム第4回運営委員会(総評会館)
11月24日	原水禁第4回常任執行委員会(総評会館)
1月25日	平和フォーラム第5回運営委員会(総評会館)
1月25日	原水禁第5回常任執行委員会(総評会館)
2月22日	平和フォーラム第3回常任幹事会(総評会館)
3月12日	平和フォーラム全国活動者会議(福島県郡山市)
3月23日	平和フォーラム第6回運営委員会(総評会館)
3月23日	原水禁第6回常任執行委員会(総評会館)

2. 諸活動のとりくみ経過

*は概括報告

4月4日	福島原発問題経済産業省原子力・安全保安院申し入れ
4月5日	「韓国・朝鮮の遺族とともに全国連絡会」実行委員会(松本記念館)
4月7日	カンボジア支援米送付(横浜)
4月7～8日	宮城県平和センター・福島県平和フォーラム支援および震災地域視察
4月10日	統一自治体選挙(知事・県議選)
4月16日	食の安全・監視市民委員会総会・講演会(総評会館)
4月19日	学習会「元原子力プラント設計技術者・後藤政志さんに聞く」(総評会館)
4月21日	全国消費者大会実行委員会発足(プラザエフ)
4月24日	統一自治体選挙(市町村議選)
4月24日	チェルノブイリ原発・福島原発事故問題集会・デモ(芝公園) *参加者4500人。チェルノブイリ原発事故から25年目となり、ロシアの被災地で活動するパーベル・ヴドヴィチェンコさんの報告や、福島原発所在地の大熊町住民の大賀あや子さんの訴えなどがありました。デモ行進では東京電力前で抗議しました。
4月25日	チェルノブイリ原発事故問題講演会(総評会館)
4月26日	原水禁国民会議全国委員会(日本教育会館)
4月26日	平和フォーラム全国総会(日本教育会館) *2011年度の活動方針などを決め、特に、大震災と福島原発事故を受けて、「持続可能で平和な社会(脱原発社会)の実現に向けたとりくみ」を強化していくことを決定。全国1000万署名や、9月19日に5万人集会を開催することなどを確認しました。

- 4月27日 部落解放共闘狭山事件現地学習会(狭山市)
- 5月3日 施行64周年憲法記念日集会(日本教育会館)
*参加者600人。「生命の尊厳、人間の安全保障をめぐって憲法を活かす」をテーマに、東日本大震災・福島第一原発事故を踏まえ、シンポジウムと講演が行われました。
- 5月15日 沖縄平和行進・県民大会(沖縄県宜野湾市)
*参加者3200人。今年は、大震災を考慮し、全国的な呼びかけは控えましたが、本土からの参加者も含め、普天間基地など撤去が訴えられました。
- 5月16～19日 光州事件31周年式典代表参加(韓国)
- 5月16日 TPP問題学習会(総評会館)
- 5月17日 エネルギー政策院内学習会(衆院)
- 5月18日 「在日朝鮮人歴史人権月間」全国実行委員会発足(総評会館)
- 5月24日 化学物質政策基本法の制定求める院内集会(参院)
*化学物質の総合的管理のための「化学物質政策基本法」の今国会での制定を求め、与野党の代表も参加し、政治主導の法案制定への決意を表明しました。
- 5月24～6月1日 脱原発運動ヨーロッパ視察団派遣(ドイツ・イギリス)
*団体・議員などと交流し、ドイツの脱原発デモに加わりました。福島原発事故が大きな関心を呼び、脱原発に向けて国際的な運動を強めることが確認されました。
- 5月26日 取り調べの可視化を求める市民団体連絡会院内集会(参院)
- 5月27日 「くり返すな！原発震災 つくろう！脱原発社会」集会・デモ(日比谷野外音楽堂)
*参加者1500人。福島原発事故と子どもたちの被ばく問題、浜岡原発などの報告・提起が行われ、東京電力本社前から銀座へのデモ行進を行いました。
- 6月1日 日朝国交正常化連絡会学習会(総評会館)
- 6月4日 第26回「4.9反核燃の日全国集会」「反核燃の日全国交流集会」(青森市)
*参加者1500人。福島原発事故を受けて、六ヶ所村の再処理工場など核燃料サイクル施設の廃止、脱原発への訴えが相次ぎ、デモ行進も行われました。
- 6月4日 「脱原発・エネルギーシフトをめざすシンポジウム」(オリンピック記念総合センター)
*参加者650人。市民団体などが主催し、シンポジウムなどを通して、自然エネルギー主体の政策転換が可能なが明らかになりました。
- 6月4日 外国人地方参政権をめぐる市民と研究者によるシンポジウム(韓国YMCA)
- 6月4日 自衛官人権裁判勝利！全国交流集会(浜松市地域情報センター)
- 6月6日 原子力委員会鈴木委員長代理との意見交換(総評会館)
- 6月11日 「くり返すな！原発震災 つくろう！脱原発社会」集会・デモ(芝公園)
*参加者6000人。福島県の子どものための父母なども参加し、現地の現状などを訴えました。集会後、経産省前、東電本社前、銀座を通るデモ行進を行いました。
- 6月15日 さようなら原発1000万署名、全国集会呼び掛け人記者会見(私学会館)
*さようなら原発1000万署名と全国集会の呼び掛け人である鎌田慧さん、澤地久枝さん、内橋克人さんが記者会見で運動への参加を呼び掛けました。
- 6月15日 「再生可能エネルギー促進法」院内集会(衆院)
- 6月16日 教科書と歴史認識を考える全国集会(東京ウィメンズプラザ)
*参加者300人。侵略戦争を美化する教科書が教育現場では採用され続けていることから、講演を受けて、新指導要領に基づく教科書採択への取り組みを提起しました。
- 6月17日 原水禁世界大会常任実行委員会(総評会館)
- 6月18～19日 食とみどり、水を守る東北ブロック集会(秋田)
- 6月19日 東富士演習に抗議する県民集会(御殿場市)
- 6月20日 前宜野湾市長伊波洋一さんを囲む会(総評会館)

- 6月21日 沖縄等米軍基地問題議員懇談会(衆院第2議員会館)
- 6月22日 六ヶ所再処理工場抗議行動(経済産業省前)
- 6月23日 沖縄戦に関する教科書検定の白紙撤回を求める文科省申し入れ(文科省)
*「沖縄戦における集団自決」に関する記述に対し、「誤解を与えるおそれがある」と06年に検定意見を出した文部科学省に検定意見撤回を求め申し入れました。
- 6月23日 即刻、朝鮮高校に「無償化」を！6. 23集会(豊島公会堂)
*参加者1000人。朝鮮学校に適用されていない高校無償化について、高校生など当事者等から訴えがあり、関係者は訴訟を辞さない強い姿勢を示しました。
- 6月23日 高江へのヘリパット建設を許さない集会(明大リバティータワー)
- 6月24日 「くり返すな！原発震災 つくろう！脱原発社会」集会(日比谷野音)
*450人参加。脱原発運動を呼びかけ、集会後は国会へのデモを行い、衆参両院の議員面会所で議員への請願を行いました。
- 6月25～26日 日韓被爆二世交流会(山口)
- 6月26日 食料・農林漁業・環境フォーラム全体会(JAビル)
- 7月7日 原水禁大会起草作業委・大会実行委(総評会館)
- 7月9～10日 原発・原子力施設立地県会議(山口)
- 7月12日 狭山事件の再審を求める市民集会(総評会館)
- 7月14日 TPP問題ニュージーランド教授講演会(憲政記念館)
- 7月21日 第48回護憲大会実行委員会(総評会館)
- 7月22日 第43回食とみどり、水を守る全国集会実行委員会(総評会館)
- 7月22日 さようなら原発1000万人アクション実行委員会(総評会館)
- 7月23日 「くり返すな！原発震災 つくろう！脱原発社会」集会(新宿中央公園)
- 7月25日 日朝国交正常化連絡会学習会・会合(総評会館)
- 7月30日 中越沖地震4周年・さようなら原発集会(新潟県刈羽村)
- 7月31日 原発のない福島を求める県民集会(福島市)
*参加者1700人。福島県平和フォーラム主催。現状報告などを受け、集会後、福島駅前を通るデモ行進を行い、「子ども達を放射線から守れ！」などとアピールしました。
- 7月31日 原水禁世界大会福島大会(福島市)
*参加者850人。原発事故を受けて初めて福島市で開催され、福島現地の報告や講演などを受け、「フクシマ」を起点に、脱原発実現をめざすことを確認しました。8月1日には被災地の南相馬市を訪ね、桜井市長の説明を受けました。
- 7月31日 医療観察法廃止！全国集会(中野区勤労福祉会館)
- 8月1日 上関町の『原発建設計画中止！』を求める署名提出行動(経済産業省)
*09年にスタートした署名が目標の100万筆以上となり、祝島島民の会代表が手渡しました。署名提出後、院内集会が開催され、立地撤回に追い込もうと確認しました。
- 8月4～6日 原水禁世界大会広島大会(広島市)
- 8月5日 原水禁世界大会国際会議(広島市)
- 8月7～9日 原水禁世界大会長崎大会(長崎市)
- 8月11日 原水禁世界大会沖縄大会(沖縄・宜野湾市)
*広島大会に約6800人、長崎大会に約4500人、国際会議に約160人、沖縄大会が約320人。「脱原発」課題を中心に、「核兵器廃絶」、「ヒバクシャ援護・連帯」の三つの柱で分科会やひろば、フィールドワークが取り組まれました。
- 8月13日 平和の灯をヤスクニの闇へキャンドル行動(全電通労働会館)
- 8月14日 全国空襲被害者連絡協議会結成1周年のつどい(江戸東京博物館)
- 8月15日 戦争犠牲者追悼・平和を誓う集会(千鳥ヶ淵戦没者墓苑)

- * 参加者200人。非戦の誓いを新たにすため、各政党や平和フォーラム代表の平和の誓いや献花が行われました。
- 8月16～28日 上関原発建設に反対するキャラバン行動
- 8月19日 さようなら原発1000万人アクション実行委員会(総評会館)
- 8月27日 「くり返すな！原発震災 つくろう！脱原発社会」集会(新宿中央公園)
- 8月28日 さようなら上関原発全国集会(山口県上関町)
* 福島原発事故をうけ上関原発の是非が政策転換のカギを握るなか、長崎・広島を出発して上関現地までキャラバン行動を展開し建設反対と脱原発をアピールしました。
- 8月31日 さようなら原発1000万人アクション実行委員会(総評会館)
- 9月3日 日朝ピョンヤン宣言9周年記念シンポジウム(韓国YMCA)
- 9月6日 護憲大会実行委員会(総評会館)
- 9月8日 さようなら原発1000万人アクション呼びかけ人講演会(日本青年館)
- 9月11～19日 さようなら原発1000万人アクションウィーク
- 9月18日 さようなら原発シンポジウム(日本青年館)ほか9.19全国集会関連企画
- 9月19日 さようなら原発全国集会(明治公園)
* 参加者6万人。呼びかけ人の鎌田慧さん、大江健三郎さん、落合恵子さん、内橋克人さん、澤地久枝さんの他、FoEドイツ代表のフーベルト・ヴァイガーさん、俳優の山本太郎さん、「ハイロアクション福島原発実行委員会」の武藤類子さんが、それぞれ力強くスピーチしました。集会後は、渋谷・原宿・新宿の3コースのデモ・パレードを行いました。
- 9月25日 原子力空母横須賀母港化抗議神奈川県集会(横須賀市)
- 9月28日 食とみどり、水を守る全国集会実行委員会(総評会館)
- 10月2日 JCO臨界事故12周年集会(水戸市)
* 1999年に起きた東海村のJCOの臨界事故から12年目、福島原発事故も踏まえ、事故の記憶を風化させないよう確認しました。集会後、デモ行進を行いました。また、集会に東海村の村上達也村長からの「脱原発」を明確にしたメッセージが寄せられました
- 10月3日 与那国自衛隊派兵を許さない緊急集会(全水道会館)
- 10月5日 TPP問題連続学習会(アジア太平洋資料センター)
- 10月6～7日 各都道府県組織・中央団体責任者会議(教育会館)
* 参加者約80人。特に、脱原発に向けた今後の取り組みなどを討議しました。また1000万人アクション呼びかけ人の一人である著述家の鎌田慧さんと、ドイツ在住のジャーナリストの福本榮雄さんの講演を受けました。
- 10月7日 護憲大会実行委員会(教育会館)
- 10月11～12日 基地問題ネットワーク総会(青森)
* 参加者50人。各県からの基地問題の報告を受け、講演として、東奥日報の斉藤光政編集委員から米軍三沢基地の問題について提起を受けました。
- 10月14日 さようなら原発1000万人アクション実行委員会(総評会館)
- 10月15日 入管法問題シンポジウム(韓国YMCA)
- 10月18日 山口二郎北大教授学習会(ホテルKKR)
- 10月18日 被団協55周年記念集会(芝パークホテル)
- 10月19～20日 部落解放共闘全国交流会(熊谷市)
- 10月21日 水基本法シンポジウム(連合主催・証券会館)
- 10月24日 日朝国交正常化連絡会学習会(総評会館)
- 10月28～30日 日韓歴史教科書問題シンポジウム(済州島)
- 10月29日 合成洗剤追放全国連絡会総会・講演会(全水道会館)
* 参加者100人。総会では、合成洗剤の追放と、水・環境の保全に向け、化学物質の規

制や表示等の活動を進めることを確認しました。講演では、「原発、放射能汚染、子どもたちの健康」と題し、科学ジャーナリストの天笠啓祐さんの提起を受けました。

- 10月31日 アイヌ民族問題集会(松本記念館)
- 10月31日 TPP問題市民シンポジウム(文京区民センター)
- 11月1日 拙速なTPP参加に反対する生産者・消費者行動(参院)
*参加者120人。全国農民組織連絡会議や消費者団体とともに取り組み、午前中は国会前で座り込みを行い、午後は国会内で集会を開き、国会情勢報告などを受けました。集会後は経団連本部で国際経済本部長と交渉を行いました。
- 11月1日 さようなら原発1000万人アクション実行委員会(総評会館)
- 11月4~6日 憲法理念の実現をめざす第48回大会(山形市)
*参加者2500人。東日本大震災と福島原発事故被害を受けながら、復興に向けて懸命にとりくんでいる東北・山形で開催し「震災から考える、『人間の安全保障』で『生命の尊厳』をテーマに、全体シンポや分科会、被災地へのフィールドワークなどを行いました。また「さようなら原発1000万人アクション」の署名等の拡大も討議されました。
- 11月10~12日 TPP/APEC対策行動(ハワイ)
*アジア太平洋経済協力会議(APEC)の首脳会議が開かれたホノルルで、TPPをはじめ、経済のグローバリゼーションや軍事などで、各国の活動者・研究者による討論集会が開かれました。日本からも13人が参加し、TPPの問題などを訴えました。
- 11月17日 さようなら原発1000万人アクション実行委員会(総評会館)
- 11月19日 フクシマ・プロジェクト会議(総評会館)
- 11月19日 「食の安全・市民ホットライン」シンポジウム(総評会館)
- 11月21日 日朝国交正常化連絡会総会・講演会(総評会館)
*来年の日朝ピョンヤン宣言10周年で、国交正常化のに向けた取り組みを強めていくことなどを確認。講演会では「朝鮮学校の支援について」(田中宏一橋大名誉教授)、「ピョンヤン宣言10年にむけて」(和田春樹さん東大名誉教授)などの提起を受けました。
- 11月24日 原水禁世界大会実行委員会(総評会館)
- 11月24日 脱原発連続学習会第1回学習会(総評会館)
- 11月27日 医療観察法廃止!全国集会(南部労政会館)
- 11月29日 脱原発連続学習会第2回学習会(総評会館)
- 11月30日 人権侵害救済法制定集会(参院)
- 12月1日 食とみどり、水を守る全国集会実行委員会(総評会館)
- 12月1日 狭山冤罪事件市民集会(日比谷野音)
- 12月1日 孫崎享さん連続学習会第1回学習会(総評会館)
- 12月2日 日韓民衆連帯の集い(文京区民センター)
- 12月3日 もんじゅ稼働反対申し入れ(滋賀・福井)
- 12月3日 全国消費者大会(発明会館)
- 12月3日 朝鮮高校無償化を求める集会(大田区民会館)
- 12月4日 高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉を求める全国集会(福井・敦賀市)
*参加者700人。1995年に起こったナトリウム火災事故から15年目。現地抗議集会を行い、抗議申し入れを行いました。また、全国集会で「世界の高速増殖炉の動き」や今回の事故分析の講演が行われ、もんじゅは廃炉にするしかないと訴えました。
- 12月4日 日本の過去清算問題集会(明治大学)
- 12月6日 原発問題・吉岡齊九州大副学長学習会(総評会館)
- 12月6日 世界人権宣言63周年記念東京集会(日本教育会館)
- 12月7日 取り調べの可視化を求める集会(弁護士会館)

- 12月9日 「福島県民の命を守りふるさとを取り戻すための署名」提出行動(衆院)
* 福島県独自に「福島県民の命を守りふるさとを取り戻すための署名」が行われ、159,762筆が集められ、政府に提出しました。その後、東京電力に対する要請行動を行い、衆議院議員会館で記者会見が行われました。
- 12月10日 「がんばろう さようなら原発1000万人署名」集会(日比谷野外音楽堂)
* 参加者5500人。呼びかけ人の大江健三郎さん、鎌田慧さんらが署名の拡大に向けて訴えました。パレードで脱原発を訴えました。また、集会前に街頭署名が行われ、多くの人が署名に応じてくれました。
- 12月12日 孫崎享さん連続学習会第2回学習会(総評会館)
- 12月12日 脱原発連続学習会第3回学習会(総評会館)
- 12月14日 従軍慰安婦問題外務省包囲行動(日比谷公園)
- 12月15日 辺野古アセス反対、沖縄の民意を踏みにじるな12.15集会(自治労会館)
- 12月16~17日 第43回食とみどり、水を守る全国集会(名古屋市)
* 参加者850人。東日本大震災と福島原発事故の問題で、農林漁業への被害と復旧・復興、農地等の放射能汚染や、食品の安全対策の徹底など、多方面から検討されました。この他、TPP問題や農林業政策、森林・水・環境問題などが討議されました。
- 12月20日 食品表示の改善を求める院内集会(衆院)
- 12月26日 日朝国交正常化連絡会学習会(総評会館)
- 2012年
- 1月7日 フクシマプロジェクト(総評会館)
- 1月14~15日 脱原発世界会議(パシフィコ横浜)
- 1月23日 日朝国交正常化連絡会学習会(総評会館)
- 1月25日 護憲大会実行委員会(総評会館)
- 1月28日 朝鮮人強制連行真相調査団全国協議会・東(横浜)
- 2月1日 わたしたちが使える人権機関を！市民集会(文京区民センター)
- 2月4日 「建国記念の日」を考える集いーアジアの連帯を求めてー(自治労会館)
* 参加者250人。2011年の教科書採択問題の総括を含め、講演(高嶋伸欣・琉球大学名誉教授)、特別報告(カン・ヘジョン・(アジアの平和と歴史教育連帯国際協力委員長)を受け、さらに沖縄県八重山地区と横浜市の教科書採択問題の報告を受けました。
- 2月4~5日 全国被爆二世団体協議会総会(広島)
- 2月5日 米海兵隊日出生台訓練反対！九州ブロック総決起集会(大分玖珠町)
- 2月8日 「さようなら原発1000万人アクション」記者会見(外国人記者クラブ)
- 2月11日~ 「全国一斉さようなら原発1000万人アクション」(代々木公園他)
* 参加者12000人(東京)。呼びかけ人の大江健三郎さん、澤地久枝さん、落合恵子さんの他、藤波心さん(タレント)、山本太郎さん(俳優)の発言、福島からの報告を受け、集会後、パレード行進をしました。このほか、北海道(札幌市)、北信越(新潟県上越市)、東海(静岡市)、中国(松江市)、四国(松山市)、九州(佐賀市)のブロック、各地域で開催、ドイツでも各地で開催されました。
- 2月14日 朝鮮学校に「高校無償化」実現を!! 院内集会(参議院議員会館)
- 2月18日 フクシマプロジェクト(総評会館)
- 2月23日 ハッ場ダム問題院内集会(衆院)
- 2月23日 脱原発連続学習会(総評会館)
- 2月26日 東海原発包囲行動(茨城)
- 2月27日 日朝国交正常化連絡会学習・会合(総評会館)
- 2月28日 第43回食とみどり、水を守る全国集会実行委員会(総評会館)

3月1日	ビキニ・デー集会(静岡市)、久保山さん墓前祭(焼津市)
3月2日	ビキニ・デー自治体要請活動 *参加者190人。福島第一原発事故から原発の全廃を訴えました。2日には静岡県、中部電力、原発立地周辺市町への要請行動が行われました。
3月3日	東京大空襲67周年朝鮮人犠牲者追悼会(東京都慰霊堂)
3月4日	「在留カードにNO！」東京集会(韓国YMCA)
3月10日	東京大空襲を語り継ぐつどい(カメラ)
3月11日	原発いらない！福島県民大集会(郡山市開成山野球場) *参加者16000人。東日本大震災から1周年目に、県内の様々な団体代表が呼びかけた実行委員会が主催して開催され、県内の様々な立場から訴えがあり、「安心して暮らせる福島をとりもどそう」と、脱原発への思いを新たにしました。
3月12日	全国活動者会議(ホテルプリシード郡山) *参加者120人。「2011年度総括と2012年度運動方針」の提起、各地の取り組み報告を受け、質疑・討論しました。
3月13日	TPP問題生産者・消費者集会(参議院議員会館) *参加者100人。日本のTPP交渉参加に向けた動きのなか、集会ではアメリカの市民団体からの報告や各党の意見表明などを受け、外務省・農水省に対し、情報の開示や市民との十分な意見交換を求めました。
3月13日	TPP問題市民国際シンポジウム(総評会館)
3月16日	新しい日米共同宣言に関する学習会(総評会館)
3月18日	希望の春風コンサート(上野水上音楽堂)
3月22日	食料・農林漁業・環境フォーラム解散総会(大手町)
3月23日	被爆67周年原水爆禁止世界大会実行委員会(総評会館)
3月24日	再稼働を許さない「さようなら原発1000万人アクション」(日比谷野音) *参加者6000人。全原発の停止を前に、「再稼働を許すな！」の訴えが相次ぎました。また、1000万人署名の達成を確認しました。
3月24日	柏崎刈羽原発の再稼働を許さない集会(長岡市)
3月25日	マーチ・イン・マーチ2012(上野水上音楽堂)
3月25日	大飯原発再稼働に慎重な判断を求める市民集会(福井市)
3月27日	TPP問題連続学習会(消費者センター)
3月31日	伊達判決53周年シンポ「日米地位協定を問う」(明治大学)

3. 声明・見解等について

●福島第一原子力発電所事故に関わる要望	4月1日
●大江・岩波沖縄戦裁判の上告棄却に際しての声明	4月25日
●子どもと労働者、被災住民の被曝に関する要請	5月2日
●福島第一原発事故に関する要請書(第2次要請)	5月12日
●浜岡原発全面停止に関する声明	5月12日
●取調べの可視化を求める市民団体連絡会声明	5月26日
●米国エネルギー省のプルトニウム使用実験に対する抗議声明	6月3日
●九州ブロック・九州電力に対する原発廃炉等の申し入れ	6月7日
●海江田万里経済産業大臣談話「原子力発電所の再起動について」への抗議声明	6月20日
●日米安全保障協議委員会(2プラス2)に関する平和フォーラムの声明	6月23日
●沖縄戦「集団自決」教科書検定意見撤回を求める要請書	6月23日
●中学歴史・公民教科書採択にあたっての平和フォーラムの声明	8月4日

●東大阪市教育委員会「育鵬社版中学校用公民教科書採択撤回を求める要求書」	8月4日
●戦争犠牲者追悼、平和を誓う集会・平和の誓い	8月15日
●沖縄県八重山採択地区における中学校用歴史・公民教科書の採択の要望	8月15日
●沖縄県竹富町教育委員会「2012年中学校教科書採択に際しての要請」	8月26日
●2012年使用教科書の採択について沖縄県教育委員会への要請	9月1日
●辺野古新基地建設に向けた環境影響評価実施への抗議声明	10月19日
●政府の環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加方針に対する見解	11月14日
●田中聡沖縄防衛局長の発言に抗議する見解	11月29日
●自民党・石破茂前政調会長による「潜在的核抑止力」論への質問状	12月16日
●日本政府の「福島原発事故収束宣言」に対する抗議声明	12月19日
●日朝国交正常化連絡会／日本政府への緊急の要請	12月26日
●「武器輸出三原則の緩和」を表明する官房長官談話への抗議声明	12月28日
●原発立地県知事・市町村長への要請(さようなら原発1000万人署名市民の会)	2月8日
●被災58周年3.1ビキニ・デー アピール	3月1日
●浜岡原発の再稼働の中止と廃炉を求める要請	3月2日
●TPP交渉参加反対および日豪FTA／EPA交渉に関する要請(外務省・農水省)	3月13日
●日朝国交正常化連絡会／日本政府への要望書	3月23日
●北朝鮮のロケット打ち上げに対する日本政府の対応に関する声明	3月26日

4. 署名運動について

- さようなら原発1000万人署名
- 北海道教育委員会の「情報提供制度」の撤廃を求める署名
集約数 団体234、個人42087筆 5月に提出
- 朝鮮人強制労働被害者補償立法の実現を求める要請署名
個人署名58, 163筆、団体署名2164集約(7月18日現在)、一部を5月に提出
- 朝鮮高校生への「高校無償化」即時適用を求める全国署名
26, 888筆集約(8月25日現在) 一部を6月に提出 引き続き取り組み中
- 「上関原発に反対する」署名
1,009,527筆集約 8月1日に経済産業省に提出
- 全日建運輸連帯「関西宇部権力弾圧事件」団体署名
421団体集約(8月31日現在)
- 「東京大空襲訴訟」東京高裁判決に向けた団体署名
454団体集約(4月6日現在・全国空襲被害者連絡協議会集約)

5. パンフ等の発行について

- | | |
|---|-------|
| ①パンフ「放射能とその人体への影響－基礎知識Q&A」 | 7月発行 |
| ②パンフ「2011核も戦争もない21世紀へ」原水禁世界大会討議資料 | 7月発行 |
| ③人権共同行動パンフ「『国内人権機関』をつくろう」 | 9月発行 |
| ④いまこそ、取り調べの可視化(全過程の録画)を！
(取り調べの可視化を求める市民団体連絡会) | 12月発行 |
| ⑤第43回食とみどり、水を守る全国集会講演記録集 | 2月発行 |
| ⑥被爆66周年原水禁世界大会記録集 | 3月発行 |